

回答書

2023-2025年度課題別研修「農業・地域振興のための植物品種保護制度（PVP）制度の導入および優良新品種・高品質種子の利用」に係る研修委託契約（企画競争）（公示日：2023年2月17日、公示番号：22c00892000000）について、配布しました企画競争説明書に関する質問と回答は以下のとおりです。

通番	該当頁	該当項目	質問	回答
1	P. 11	2. 2023年度研修期間（予定）	来日研修開始が6月28日（水）になっている。これだと、研修員が日本に移動してくるのが週日になる。例えばオンライン研修を6月23日までとし、土日に移動、6月26日（月）から来日研修とした方が効率が良いように思えるが、6月28日から来日研修とする特別な理由はあるか？	研修員が各国を出国する際、PCR検査が必要になると想定した日程となっており、6月26日（月）をPCR検査受診日、6月27日（火）を検査結果受領日、そして6月28日（水）に来日することを想定した日程表となっています。 なお、入国要件の緩和等により出国前PCR検査が不要となった場合には6月26日（月）から来日研修を実施することも可能です。
2	P. 14	9. 研修方法（タイトル P. 13） パラ1	「日本語から英語」および「英語から日本語」への通訳はJICAが手配を行う研修監理員が対応する、とあるが、受託先の内包する同分野に精通した通訳・研修監理者（名称例：コーディネーター）が行うことを明確な理由とともに提案することは可能か。	「日本語から英語」および「英語から日本語」への通訳および研修管理者を当研修委託契約に含め内包化することは、受注後の契約交渉においてその必要性が認められれば可能です。
3	P. 14	9. 研修方法（タイトル P. 13） パラ2	1週間程度の遠隔研修の中でUPOVの講義も入っているが、この時期、UPOVが独自に実施する研修が予定されており、この時期のUPOVの関与は難しいと予想されるが、このあたりの講義の順序に関しては柔軟に対応で宜しいか。	講義の順序の変更については、当研修の案件目標の達成が損なわれない範囲で変更が可能です。
4	P. 19	1) 研修実施全般に関する事項 ④研修監理員との調整・確認	上記2番目の質問と同様、JICA筑波が手配するとなっているが、これを受託先の専門通訳・監理業務者が行うことを提案したいが宜しいか。	「通番2」と同様です。
5	P. 19	1) 研修実施全般に関する事項 ⑥コースオリエンテーションの実施	かっこ内にある事前の接続確認であるが、これはこれまでのオンライン研修同様、研修開始前の業務という理解で宜しいか。	事前の接続確認については、当研修委託契約後であれば、研修開始の前後に関係なく実施可能です。全工程を踏まえた予定を勘案して御検討いただくと幸いです。
6	P. 20	21. JICA筑波への講義テキスト・各種レポート等提出（原本及びデータ）	これはDVD-Rでの提出が必須か。たとえばGIGAPODに格納を持っての提出ということは可能か。（データなどはPDFにて格納）	JICA筑波への講義テキスト・各種レポート等の提出については、JICA筑波へ提出することができるようであれば、GIGAPOD等のオンラインストレージを利用した提出が可能です。

以上